



利
吟
風
說
書

西垣文庫
文庫10
7378



特文庫印

7378



互之
述書并刊
風說書和鮮源

当林阿業沈私分先出刊
風說書和鮮万石以下之面
之反为以得下说
为致以杖伊坊与殿
之他反依之字
立之舟在凉中述公
以顺述之立以返部

下之之山

辰十月

西坡文庫

3192 七6

別段風説書

和蘭國

一和蘭國は、當年茂山申静澄法王と和親し
南佐航海し、美土流紫高陵し。

一千八百五十五年去卯之助和蘭國と西里利加
合衆と條約を極和蘭國所屬以緊要之港湊と
彼とコンシエル結ぶと云ひ、美土流紫高陵し。

一右同條の條約拂朗西及ベルギーと云ふ極
中い

一千八百五十五年去卯之助和蘭國と西里利加
合衆と條約を極和蘭國所屬以緊要之港湊と

子オシエ、グリーンズ、地向け少松カキス
ホルトガル玉ノ地名并アル夕地と来り其末弟有十三

去卯年九月十三日和蘭國と歸着政い

一同人義士は行程中、姓名を告げ及臨し、再至い

一千八百五十五年去卯之助和蘭國と西里利加
合衆と條約を極和蘭國所屬以緊要之港湊と
名之府街を遊覽路し

和蘭國

一第廿五頁去卯之助和蘭國と西里利加
合衆と條約を極和蘭國所屬以緊要之港湊と

スバヒット政着政一い

一前之総領包トイマルアン・トウ井スト義同月其百
秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

一前之総領包トイマルアン・トウ井スト義同月其百
秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

一前之総領包トイマルアン・トウ井スト義同月其百
秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

一奉行不之セツレターリス被アプリンス各義王に命依り
秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

一千八百五十二年第一ノ月
名地之主ハフンクローウヲノ秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

一前之総領包トイマルアン・トウ井スト義同月其百
秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

一前之総領包トイマルアン・トウ井スト義同月其百
秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

一前之総領包トイマルアン・トウ井スト義同月其百
秘業以不友之其死を新総督ト川坂以上同也

石舟五ノギエルデン^名は換毛多し且又第三月^名は
初旬ヨロトサンギル^名は火山破裂し数多し玉^名は殊^名
夕ブーカン^名は破壊^名は死亡四十人あり由^名は

一和業^名は法^名軍^名再^名公^名有^名法^名道^名海^名緘^名探^名索^名と^名て航^名海^名
政^名は

一和業^名は法^名軍^名再^名公^名有^名法^名道^名海^名緘^名探^名索^名と^名て航^名海^名
一^名は免^名中^名は

一右^名は外^名和^名業^名以^名有^名反^名中^名物^名靜^名と^名有^名は

一昨年^名中^名ハ^名シ^名ハ^名ン^名グ^名地^名を^名不^名段^名路^名と^名一^名候^名エ^名チ^名ヤ^名十^名之^名ア^名ラ^名ム

^二後^名の^一自^名稱^名終^名と^名和^名業^名政^名府^名に^名從^名伏^名し^名一^名に^名地^名密^名に^名溢^名り^名あ^名り^名
中^名は

額利太沈血以平反

一昨年^名列^名強^名風^名説^名を^名以^名て^名中^名と^名是^名イ^名ラ^名ワ^名ツ^名ギ^名イ^名と^名名^名は^名傍^名に^名
一^名は^名出^名し^名石^名炭^名脈^名ハ^名長^名シ^名工^名ケ^名ス^名又^名里^名數^名も^名十^名余^名分^名と^名有^名
一^名は^名表^名を^名と^名石^名炭^名採^名出^名産^名政^名と^名カ^名リ^名と^名す^名

一千八百五十五年^名に^名初^名法^名定^名年^名に^名唐^名書^名と^名初^名め^名て^名額^名利^名太^名沈^名
一^名は^名西^名玉^名と^名年^名以^名ヤ^名ホ^名ウ^名リ^名ン^名グ^名人^名シ^名ヤ^名ム^名と^名長^名き^名商^名法^名以^名初^名元^名
一^名は^名極^名メ^名中^名は

一カルクツタ地より嘆吐喇軍教より二百里に在り
 へルハンポリ地より約千八百五十年に末に撲起り
 太泥西人教多し土人より殺害と波に在り人々アルク
 一エホリ并イラソン各地より三千人を在り集り
 一カルクエツ地より先づ歐羅巴に軍を擧げ撲起り
 一カルク後より撲起り獲りては千八百五十年に
 三月に後より太泥西人教多し土人より殺害と波に在り人々アルク
 一カルク後より撲起り獲りては千八百五十年に
 一カルク後より撲起り獲りては千八百五十年に

シニガホーレ カブテグーデホーブ アウスタラーリ

此處靜謐ありし
 支那

一千八百五十五年第七月 諸部より兵を擧げ
 一カルク後より撲起り獲りては千八百五十年に
 一カルク後より撲起り獲りては千八百五十年に
 一カルク後より撲起り獲りては千八百五十年に

岸并十ニコシ近傍より英吉利并西墨利加軍船
類々御討をとりくとし海賊未だ夥多あり

一 直以て風説せし上は安寧に多く高貴再禁旨致
し一 獲擾乱せし村民毀却致し府街三分を占
據しトキニ紙并コイニセン紙と商人教多之地に功任
致し

大鯨利太泥西并イールランド

一千八百五十五年第四月十二日
拂朗西王帝并王妻室一向英吉利女王を訪ひ滞在

政し

一同年第八月
グシクニニ玉と同玉も来中し

一 此年利根風説し中上ハバラクニレ紙とフエル十紙と
中上テレガラフを設祝し第四月十日
然政し

一 西墨利加合州並アワスタラニ紙と移住し人教子
八百五十五年

五成中ム

一ベルキー玉と千八百五十二年之初以^キ當^ル英^王刺^玉

來中ム

スウエーデン ノールウエーデン テー子マルケニ

何れも
玉名

一吋少くも東玉に年輪より拍合なく中立致在ム

一スウエーデンノールウエーデンと千八百五十二年第十月

末^ニ條^ノ極^メ有^リ右條^ノ約^ニ

中^ニ地^方西^ノ刻^ノ又^ハ以^テ之^ヲ勢^ノ一^ノ以^テ

と約^ノ外^ニ條^ノ極^メ中^ニ若^ク魚^ノ西^ノ玉^ノ千^ノの^ノ亦

望^ルに^ハ此^ノ條^ノ佛^郎刺^玉帝^ト嘆^ク刺^玉王^ト是^ヲ拒^ス是^ノ
と預謀致ム

佛朗西玉

一千八百五十二年 キ帝^ヲ討^テ人^ト英^王企^ム者^有キ

此^ノ條^ノ英^王及^テ西^ノ海^ノ那^ノ一^ノ之^ヲ黨^ヲを^テ牢^ニ獄^ニ下^シキ

當^ル刑^ノ其^ノ文^ヲ中^ニム

一先^ニ之^ヲ説^キし^テ之^ヲ千^ノ八百^ノ五^ノ十^ノ年^ノ第^ニ五^ノ月^ノ十^ノ日^ニ結

詳^ク三^ノ月^ノ展^ク觀^ル場^ヲと^ス元^ノキ^ノ中^ニム

一同^ニ月^ノ第^ニ五^ノ月^ノ第^ニ五^ノ日^ニホルトガル王^ト并^テ才^トホルト^ノ地^ノ之^ヲへルト^トガ^ノ佛^郎西

五ノ見ル年ハ集ルハ

一千八百五十五年八月カール王并其妻室在見ル年ハ集ルハ

同ノ年第九月カール王ヒクルエマニエル王
同ノ拂朗西王ハ入ル年ニ後漢カール王ハ向テ出ル政ハ

拂朗西帝ハ妻室千八百五十五年三月十日
男子出産有ルハ

一千八百五十五年四月拂朗西王ト包社王ト和親交
易ノ約定有ルハ

獨乙王

一獨乙王南西リ移テ千八百五十五年五月
一獨乙王ハ西皇利加王ハ移住スル志有テ檢別減州政ハ

伊新巴泥五王

一伊新巴泥五王ハ財政今極歎々反福利有ルハ

一第第二月カール王ハ移住スル志有テ檢別減州政ハ

一カール王ハ欲黨之ハ撰ル事有ルハ伊新巴泥五王

カール王ハ打倒中ハ

一千八百五十五年三月カール王ハ欲黨之ハ撰

全く滅亡致し、以て人々を軍に手と捕へし此砲を
お殺すれい

一千八百五十五年 五月 五月 ペリピン諸島マニラ地所屬の
ホーリー港並ニエアル港サントーング港に交易を許さず出
入運送を没所をなすれい

ホルトガルを

一千八百五十四年第九月 九月 九月 リスサボン地を初めて
若年ホルトガル王ドンペドロ第五世名即位し後式
ありし

一 けむしの世を平和ありし
一 右王即位し後王の旅行致し

伊太利西王

一千八百五十五年五月 五月 五月 初め一月に名火山が
エシヒエス地中震動あり其徴あり新に坑口八所出
来ラフア 火山 坑口 八所 出 是より坑出せり 火山 坑口 八所 出
よく長短教條し川を成し

キリーケンランドを

一 けむしの世を賊盗ありし由り風流あり

一千八百五十五年 第七月 政事向一改革有之

都見格書

一千八百五十五年 初以 在東京 西細五都見格内之
ブリュッセル 地震之為、破壊致し、石造之家屋、
新と全く以て之を以て、岩を脱々出、破壊せり
府中より為掛中

一 西細五、西方及歐羅巴之東方に和めて、地震
之禍、掛中

一千八百五十五年 第七月 在東京 力、地震有之

一 レジントスカツブレ レジント友 千里ホリー 西弗利加刺 におめて

千八百五十五年 七月 在東京 一 樫起りやん。バカー 都見格
都見格を將て一樫を遠く接戦ニあり、
見格を敗れ、或は打死、或は囚へ、在業中

一 都見格 在東京 風況を、千里ホリー 在東京 一 樫を
打破し、掛中

一 泥の多 在東京 初めハツンドルエーニング 在東京 紀
紅梅と地中梅との界ニエス、峽を切通し、
高海を元ヨリ、利を及ぼし、
御、インゲニール

山川を以て或は城構をまはら
業をいしむ

其集り各々より王侯に

一 和宗政府の波地より先をいんぐニールと西
へ来りいんぐニールホに標をく上席に進められ
の多しオドルエトニグ故より別修し運にをり
及はと歐羅巴の水路を場へすけたり
業をいしむを扱やい

零之四五玉并 都見格也

一 は其並并 雲方よりしとの和勝と義を中と
第一軒雲の西に

一 当第三角三古 当第子 バレイス 佛朗西 一 初めて諸王より

差をいしむ 総代と和勝の約之書に夕方
つく大砲を放ちく、玉氏より書を逐知り
極多し格別あると方題を未夕表向ホ達し
い付是を記載する由業の西に

一 中々之利便風説がより以後に利便ある義を
たし中よりしむくお知り中いセハスホル 粵西 南手
を千八百五十年 牙九月八日 結成り同盟方より攻
え中い

一先交之利既風説しりて通一千八百五十五年
三和也 同盟方之海軍新に東海并白海に出
 船隊 右海軍之港を絶切せし尤國所於之
 同盟方格別に可変りしを以て之を
 一東海之八得濟地地と名ししをイスタット府とボム九
 を以て打出せし又スワールボルクに於て一千八百五
 十一年才三月在都也 同盟方之海軍船十二艘を
 以ボム九を以て打出せし
 一千八百五十五年才三月在都也 再ハ彼海軍之國

を解き同盟方海軍を以て莫略利を拂朗
 西之港へ帰帆せし
 一魯西西海に南方を接戦し終りし
 一キリム地に佛朗西軍將ケ子ラール被カントヘルト地に
 八百五十五年才三月半以病を因て之を職を辭し
 ケ子ラール地にヘリスニール地に代りて之を職を司りし
 一先交之利既風説しりてサレニール地にハナツク地
 小到着波し移交之接戦し利を増せし
 一千八百五十五年才三月下旬在都也 同盟方

英越一の手を去るにルツ地并エシカール地
リム地も同盟方直ち攻魯西西方を退
右英越の英軍多私もくを地を焼打し海に
てを以て穀物庫焼拂并凡大炮百門を奪取
いし帝魯西西に英軍私軍艦四艘運送し私二
百四十艘ありしりて魯西西人自らは是を破壊
致し又同盟方よりとすれを打え中山を後同
盟方海軍アソウ海に俵中山右に付候とす
わて魯西西に商賣妨げられ魯西西に軍勢并

くを去るより元魯西西に食糧を運送し物を積
今よりより魯西西に余勢をレシヨフ地は地決を經
く激しく食物を調は程なく甚以難潰に成り
こ

- 一デキリム地は少東と南にニ工街とを刻川續
- 同盟方よりボム丸をく焼打し動切有し
- 一を以て米穀年々乏しく有し
- 一千八百五十五年八月にリム地并拂朗西人セバスト
ボル地名 於て再ハボム丸を打拂りし盟方リム地

列強及戦いの上とくグルーシオンへル録王ともいふる
ロレアルト地并カルフアトに港を有るを大奪取
多し嘆嘆列人へ付付他所とく欲望を討た同
盟方と死に付戦軍中三子人有らむ右とて
コフトーレン塔と名ありとて東方より塔を
セバスボル地と改稱しとて同月十六日同盟方
より假託の法によりて西の西五人討殺中
一千八百五十五年一月十八日チヤウチキリム地と嘆
々列強総叔のロルドラグラシム急病より死に候

右件とてゲ子ラール名シムブソン人勅に於て千八百五
十五年チヤウチキリム地と流砂政
代りしに付てこう一種列強及チキリム地と流砂政
凡千三勢より死に多し有る嘆々列強及拂朗西勢と
死に多し又程とて無き
一、千八百五十八年チヤウチキリム地と同盟方假託
しに巧みし後年七月十五日チヤウチキリム地
まゝく西の西五人討殺及討く出りて同盟方より
討殺し

一 八月廿三日 蘇門答臘 勿里洞 西無人 于工リ十ヤ地 杉の島
同盟方は連塞を剛強に守り攻討つる烈敵
討致し中いそ希ナルに一勢ハ勇威を昭かし
八月十七日 蘇門答臘 同盟方は并續セバストボル地
之地城を攻め九月五日 八日と 救交
劇しく攻め九月八日 救交
地を攻え 蘇門答臘 今付攻めし場所 中一要害所
謂マラコトリーニ塔之勢ハ勇を奪りて防戦せられ
拂調知人 攻められ中い

一 莫味利人 于レタニの地 他の一着 官を攻れとも
功不し 于地 今交 城攻め 格別 功著し
一 魚の島 西人 マラエツに 要害を失ふ 火を起して 火
着流り 又火出る 倉庫を破壊せしめ 市街に
放火し 投セバストボル地 南オニ地を 舍く 佛の
又港を 蘇門答臘 船を悉く 焼拂ひ 佛船 魚
西西より 戦を起し 蘇門答臘 船十九
艘 アレガト 船十三艘 スクニル 船并 ブリッキ 船十艘
蘇門答臘 船三十艘 船 軍艦 付 蘇門答臘 船 二五人

より後主よりて秋よりと殊りあるに玉り中
初て魯の無五人の列を乞ふに及んば傷とと
主は死し七方へ引退し

一 同盟の死に二万人魯の無五人の死に二万二人あり
一 都兎格を以て三エルク君を以てキム地より左拂調
西に説替りよアエルトマルニカク故に友を授て二十万
ニテ之を後之役料を乞ふ中

一 魯の西五人より取圍ありに西細西にカルスに時石に
ありて千八百五十五年九月十九日あり （チカキ） 都兎格

方千人死亡ありに時故魯の西五人に時石に以て
より友友を圍中し 都兎格人列を友打て出
戦しし魯の無五人四千人

一 都兎格人のエルク地より來ル援をを馮心と
政有に魯の無五人右援を却りし時
舟中馮心未遠 陸に

一 程程カルスに時石に時石に糧を乞ふ軍勢あり死
亡夥多ありに故に時石を得に千八百五十五年
十月十八日 （チカキ） 城を魯の無五人に降し

一セバスポートル地地の南方の地を討ちて以来魚の無人
不従せし方の討ち、抄りて防備致し、屢同盟方
に向て盛に強脅し、放火を仕掛り、同盟方ハ新
規に此石を築き、手強くと放火の應答致し、
一セバスポートル地地の内討ち、おき同盟方より全く討
ち、一秘宝場を破壊致し、

一石の討ち、トドニール川に傍らキムビエリ村
ハ同盟方汝軍よりボム丸より多く焼打ち、遂に
府速より同盟方より手に入らぬ

一千八百五十六年一月チホ地よりオースティンイキ
去ハ拂朗布を嘆泣し、と話し、東方争論和陸
文鉄より成り、秋に板致し、以後魚の無
人と内儀と及中ぬ

一石の討ち、オースティンイキより魚の無人、
一石の討ち、以て因風説、とて在る、とありぬ

才一

魚の無人は、トドナ川に傍ら、ポルスティンダム地
を護善祀、地を引取、とあり、政事改正、致す

才二

へスサラビー地一各川後了可

才三

黒海ハ中々〜何の玉も屬せぬ付海濱も
粵西五ヶ所及ん武庫を設る及又西至軍
艦たりも付海邊に泛る及可尤ニドナフ川に
口より限り水上ありと爲る軍艦 向亦と爲る可

才四

テボルテ都示格に在る天主教ヲ奉る者互に

力復せしむ可

一右以國條より外西方諸島に黒海に港より三ヶ所
を以て玉魚を無む以後ともつる以法決し要
害を辨しり及方の新法を未だい

一右舟魚を無む統一統に希全に應行る約
定を辞退し左に

一ゴアラビー地各島西五ヶ所地を分界を要するに
極り兼西方諸島列島中々〜何の玉も屬せ
ぬ規定に中々海の中々〜何の玉も屬せ

たまらざるに廉くして漸次致し同盟の方條を致す
土地川拂いと魚り西五五ハカルスのみ石とさず魚
西五五お使右い土地の区迄りと希望致し
一併併オーステニイキ政府はけ度致し致オース
テニイキふより中越り通し度と申一月十八日
まうに魚り西五五をおめてえ用ふりいりガラープ
友エトルハセイ人シントペートルスビエルグ^{魚り西五五}を返
去致すくきと申へ
一月十七日^{魚り西五五}魚り西五五を廉くして漸次

一才^{魚り西五五}一才^{魚り西五五}ウエー子^{オーステニイ}と元^{イキノ帝都}振書
姓名を署しハレイス^{佛朗西}と和^和睦^睦と申
致し為^和集^睦会^和言^睦て致しお使^睦す
一才^{魚り西五五}一才^{魚り西五五}ハレイス^{佛朗西}と集^和会^睦を閉^和し
し集^和会^睦十^和魚^睦り^和西^睦五^睦五^睦不^睦都^睦兒^睦格^睦と掛^和朗^睦西^睦五^睦黄^睦味^睦
料^和七^睦廿^睦十^睦三^睦五^睦オーステニイキ^睦と出^和會^睦并^和フロイ
スと致して参^和會^睦致し
一才^{魚り西五五}一才^{魚り西五五}未^和決^睦とて致^和申^睦可^和お^睦止^和て申^睦

一 和方は公（当座中）右又極（イノミヤ）を成し戦を息らさ
 一 美デキリム（地）知政一付地一柳をそ相言同
 一 盟方総督魚の血ゲ子一ル彼ハツツ（各）集
 一 会政一お能言款しるるを止メヤム
 一 不之教ハイス（拂朗西）おめて尋ねたふさる後
 一 寸の集會有し始よ中述く通引續才三月
 一 三十（當座中）和親く條約し右あきかヤム
 一 一友一者つるを書載單を止は同盟方按察
 一 一手去る年へト口ハウロフスキ（地）を攻て功績著ししる

一 先交之別版風説は右えり此千八百五十五年正月
 一 三（各）又右はるし到りし子に付右あし如打捨
 一 有し因く右はるし法（國）を破却しし

西里望利加州

一 カリフォルニア（地）の告知就中全坑と拘りし
 一 事ふ右愛同極く美し有し越は千八百五十二年
 一 多ね年ヤカリフォルニア地全金属祭用以来
 一 一歳しを饒し年有し
 一 一々キニエ（地）知右極の幸ひ母く徳玉大

概一撥踏新

一ヨス夕リカ地ノおろして許多の石炭坑洞坑金
坑を堯墟政一右全坑の内一ヶ所出ス所の
教饒多し有しを洞坑ハ至極肝要有
既ニ良善ノ題向ラ取ル元ヨリ
一近來の未知ヨクハ唐土并東亞及海は
歐羅巴法軍在リ形ヨリ有し

船号

祀旗

賞教

船長の名

バルラエウタ

噴活利

六挺

フキルラスキエ

ビツトルス

ハ

十三挺

バーニノ

エウリエス

ハ

十四挺

ルヨシキス

コロシドル

ハ

オカルラガン

ヘルキエレス

ハ

十七挺

フウセイト

ホル子ト

ハ

エレスネストル

シントル

ハ

ホンステワルト

ナシキン

ハ

三十五挺

シルニエルツン

ヒキユ一

ハ

十四挺

ビエルトルト

ラセホルセ

ハ

セイビルレ
 ウィンセストル
 シベイルン
 ビルギニー
 トムヤースエールストボルトガル
 シルゲユオル
 一唐王并系方より交法し使し和事海軍をたし
 形よりみろし
 四十挺
 五十挺
 六十挺
 七十挺
 八十挺
 九十挺
 小銃格エリリ
 銃格セグセル
 銃格ウセルン
 銃格マイワレン
 銃格キエレン
 銃格フランス
 小銃格ロース
 同友アックウ
 同友アックウ

船号

種類

船長め名

プリンスフレディック
 ハレムバング
 ボレアス
 プリンスウヰルムフレディ
 テハーイー
 ベイラテス
 レンバング
 セイルフ
 サルア
 フレガット
 ユッフエツト
 タラニスポルト
 ブリックキ
 アドフィース
 スクイーゼルブリッキ
 フアロムメロロ友
 ビラールロロ友
 ムートロロ友
 フレガット
 ユッフエツト
 タラニスポルト
 ブリックキ
 アドフィース
 スクイーゼルブリッキ
 フアロムメロロ友
 ビラールロロ友
 ムートロロ友
 スパンヤール
 ウラール
 ケルセン
 テイトル
 テルトル
 ケレイ
 フアロム
 ビラール
 ムート

バンダ

ラシール

バダング

アムバン

エグモント

カノシ子ルホート

メデニサ

アムストルダム

バタイヒヤ

モトルマン

ストルト

ブラウン

トバメヨルト

フアンウエイ

ヨルレグ

ベルグホイス

ゼリース

ローゼンルフアン

モシタラード

フエシフィユス

アトナフ

サマラダ

セシベス

ボル子オ

オニリエスト

ンヨリナメ

スルース

ストームシキツフ

''

''

''

''

''

''

アングラ

エーレンベキ

カラルキツ

ビンケス

デマン

ストルト

アブラス

デフリーセ

フヘンヤム

西里加法軍ハ

石ノ松ノ方

船号

記旗

船数

船長の名

上ノ下

西里加

十八挺

又三ノ下

石ノ松ノ方ノ中ノ以上

辰七月

